国指定史跡名越切通保存管理計画策定委員会の設置及び運営に関する要綱

（趣旨）

第１条　この要綱は、国指定史跡名越切通（以下「名越切通」という。）の逗子市内指定地の適正な保存管理及び公開活用に向けた指針となる国指定史跡名越切通保存管理計画（以下「保存管理計画」という。）を策定するため、国指定史跡名越切通保存管理計画策定委員会（以下「委員会」という。）を設置し、その運営について必要な事項を定める。

（所掌事項）

第２条　委員会は、保存管理計画の策定のため、名越切通の保存管理、公開活用その他について調査及び研究し、その結果を教育長に報告する。

（組織）

第３条　委員会は、委員１１名以内をもって組織する。

（委員）

第４条　委員は、次の各号に掲げる者のうちから、教育長が委嘱し、または任命する。

（１）知識経験者

（２）逗子市文化財保護委員

（３）名越切通に隣接する地域に居住する市民

（４）市職員

（委員長及び副委員長）

第５条　委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選により定める。

２　委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。

３　副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その任務を代理する。

（会議）

第６条 委員会の会議は、委員長が招集し、その議長となる。

２　委員会の会議は、委員の過半数の出席がなければ開くことができない。

（協力の要請）

第７条　委員長は、必要があると認めるときは、次の各号に掲げる者を委員会に招致し、資料の提出、意見の開陳、説明その他必要な協力を求めることができる。

（１）文化庁記念物課調査官

（２）神奈川県文化財保護行政担当者

（３）神奈川県横須賀土木事務所担当者

（４）鎌倉市文化財保護行政担当者

（５）保存管理計画の策定に必要な技術、知識などを有する者

（庶務）

第8条　委員会の庶務は、生涯学習課において処理する。

（委任）

第9条　この要綱に定めるもののほか、委員会の運営について必要な事項は、教育長が別に定める。

附　則

（施行期日）

1　この要綱は、平成11年12月1日から施行する。

（招集の特例）

2　委員会の最初の会議は、第6条第1項又は第7条の規定にかかわらず、教育長が招集又は招致する。

（要綱の失効）

3　この要綱は、委員長が所掌事務の処理を完了した日限りでその効力を失う。

国指定史跡名越切通保存管理計画策定委員会名簿

役職	氏名	専門	摘　　要
委員長	石井　進	中世文献	東京大学名誉教授・鶴見大学客員教授
副委員長	三浦　勝男	中世文献	逗子市文化財保護委員会　委員長代理
委員	大三輪　龍彦	中世考古・文献	鶴見大学教授
〃	持田　幸良	植生	横浜国立大学助教授
〃	手塚　直樹	中世考古	鎌倉考古学研究所所長
〃	鈴木　博	動物	逗子市文化財保護委員会　委員長
〃	高作　泰寛		指定地地権者
〃	玉井　鐵夫		指定地隣接地住民
〃 〃	岩渕　定彦 龜元　芳男		逗子市教育委員会教育部生涯学習課長（平成11年度） 〃（平成12年度）
〃 〃	青木　忠幸 石井　義雄		逗子市環境部参事緑政課長事務取扱（平成11年度） 〃　緑政課長（平成12年度）
〃 〃	平井　喜世一 河野　行雄		逗子市都市整備部次長都市整備課長事務取扱（平成11年度） 〃　都市整備課長（平成12年度）
助言者	伊藤　正義		文化庁文化財保護部記念物課文化財調査官 文化庁文化財部記念物課文化財調査官（平成13年1月6日より）
〃	堀江　道子		神奈川県教育庁教育部生涯学習文化財課文化財担当課長
〃 〃	渡辺　清 木下　幸夫		神奈川県横須賀土木事務所河川砂防部急傾斜地第一課長（平成11年度） 〃（平成12年度）
〃	小松　眞一		鎌倉市教育委員会生涯学習部文化財課長

参考資料一覧（執筆者の五十音順）

第1章

赤星直忠「逗子市お猿畠大切岸について」『神奈川県文化財調査報告書』34、神奈川県教育委員会、1972

逗子市『名越切通史跡公園計画再編プロジェクトチーム検討結果報告書』1996

逗子市『逗子市緑の基本計画』1996

逗子市『名越切通史跡公園基本計画書』1997

逗子市『逗子市総合計画 基本構想・基本計画』1997

逗子市『逗子市総合計画・実施計画 平成9年度～平成11年度』1997

逗子市『逗子市総合計画・実施計画 平成10年度～平成12年度』1998

逗子市『逗子市都市計画マスタープラン』1998

逗子市『逗子市環境基本計画』1999

逗子市教育委員会『名越遺跡』逗子市文化財報告書、1979

逗子市教育委員会『史跡名越切通保存管理計画策定報告書』1979

逗子市教育委員会『名越遺跡範囲確認調査報告書』1997

逗子市教育委員会『国指定史跡名越切通整備基礎調査報告書』1998

逗子市公園課『（仮称）名越切通し史跡公園基本構想報告書』1991

逗子市緑政課『（仮称）名越切通し史跡公園基本計画報告書』1992

第2章

赤星直忠「逗子市お猿畠大切岸について」『神奈川県文化財調査報告書』34、神奈川県教育委員会、1972

阿部永監修『日本の哺乳類』東海大学出版会、1994

石井進編『鎌倉と北条氏』別冊歴史読本、新人物往来社、1999

日本の地質「関東地方」編集委員会編『日本の地質』3、共立出版社、1986

奥富敬之『鎌倉史跡事典』新人物往来社、1997

神奈川県『土地分類基本調査　横須賀・三崎』1984

鎌倉市『鎌倉市市政要覧グラフ版』1998

鎌倉市教育委員会『仮粧坂周辺詳細分布調査報告書』1996

鎌倉市教育委員会『亀ケ谷坂周辺詳細分布調査報告書』1998

鎌倉市教育委員会『大仏切通周辺詳細分布調査報告書』1999

逗子市『逗子市の植生』1971

逗子市『逗子市史 通史編』1995

逗子市『逗子市史 別編Ⅱ』1995

逗子市『逗子市総合計画 基本構想・基本計画』1997

逗子市『逗子市市勢要覧　平成11年度版』1999
逗子市教育委員会『文化財散歩、ふるさと・逗子』1978
逗子市教育委員会『名越遺跡』逗子市文化財報告書、1979
逗子市教育委員会『植物』逗子市文化財調査報告書第11集、1982
逗子市教育委員会『名越遺跡範囲確認調査報告書』1997
逗子市教育委員会『国指定史跡名越切通整備基礎調査報告書』1998
逗子市消防本部『'98消防年報（平成10年版）』1998
高野伸二編『日本の野鳥』山と渓谷社、1985
日高敏隆監修『日本動物大百科』2、平凡社、1996
三浦勝男『鎌倉の史跡』鎌倉春秋社、1983
宮脇昭・原田洋『鎌倉市の環境保全と緑の環境創造に対する植物社会学的研究』鎌倉市、1974
森岡照明・叶内拓哉・川田隆・山形則男『図鑑日本のワシタカ類』文一総合出版、1995

第3章

鈴木茂「神奈川県鎌倉市における鎌倉時代の森林破壊」『国立歴史民俗博物館研究報告』第81集、p.131-139、1999

第5章

建設省『都市計画公園法』1993

図版・その他

鎌倉市『鎌倉市歴史的風土保存区域・風致地区等指定図』1/10,000、1994
鎌倉市『鎌倉都市計画図』1/10,000、1998
国土地理院『2万5千分の1地形図』「鎌倉」、1994
国土地理院『5万分の1地形図』「横須賀」、1995
逗子市『逗子市都市計画図』1/10,000、1988
逗子市教育委員会『国指定史跡名越切通地形図』1/1,000、2000
逗子市教育委員会『国指定史跡名越切通公図対応図』1/1,000、2000
地質調査所『5万分の1地質図幅』「横須賀」、1998

国指定史跡名越切通保存管理計画策定報告書

発行日　2001年3月30日
発　行　逗子市教育委員会
〒249-8686　逗子市逗子5－2－16
TEL.0468(73)1111　FAX.0468(72)3115
印　刷　横浜ハイテクプリンティング株式会社